

- 問1 3世紀頃の日本（倭）の様子について記された中国の歴史書『魏志』倭人伝には、「長年、国々が争い合って混乱していたため、人々は一人の女子を王に立てた」という趣旨の記述があります。このとき、邪馬台国の女王として擁立された人物は誰ですか。（2020年 秋田県公立入試 類似）
1. 持統天皇
 2. 孝与
 3. 推古天皇
 4. 卑弥呼
- 問2 弥生時代から古墳時代にかけて、収穫道具が「石包丁」から「鉄鎌」へと変化したことに伴い、収穫の方法はどのように変化したか。（2016年 奈良県公立入試 類似）
1. 地中の根を掘り起こす方法から、穂を叩いて実を落とす方法へと変化した
 2. 実った穂先だけを摘み取る方法から、株の根元から刈り取る方法へと変化した
 3. 石の表面で殻を削る方法から、金属の刃で穂を細かく刻む方法へと変化した
 4. 手作業で一粒ずつ拾う方法から、土器を使って一度に回収する方法へと変化した
- 問3 弥生時代に大陸から伝来した金属器に関する統計資料において、武器や工具として実用的に使われたものとは別に、主に祭祀や儀式の道具として分類される金属器があります。銅鐸や銅鏡などが代表例である、この金属器の名称として適切なものを選びなさい。（2020年 熊本県公立入試 類似）
1. 青銅器
 2. 鉄器
 3. 須恵器
 4. 打製石器
- 問4 弥生時代に本格的に始まった稲作において、実った稲の穂先のみを摘み取って収穫するために使われた磨製石器を何というか。（2016年 奈良県公立入試 類似）
1. 石包丁
 2. 石匙
 3. 打製石斧
 4. 石鎌
- 問5 弥生時代に使用された道具とその背景について述べた文として、正しいものはどれですか。（2024年 山口県公立入試 類似）
1. 金属器のうち、青銅器は主に木材を加工するための工具として、鉄器は祭祀用の宝物として使い分けられた。
 2. 収穫の効率を上げるために、鉄製の鎌を用いて稲の根元から刈り取る方式がこの時代に確立した。
 3. 牛や馬を農作業に利用する牛馬耕が導入されたことで、大規模な水田開発が全国で一斉に進んだ。
 4. 稲作が始まった当初は木製の農具が中心であったが、次第に大陸から伝わった鉄器なども使われるようになった。
- 問6 弥生時代の国際関係についてまとめた学習表において、1世紀に「奴国の王」が後漢の光武帝から授けられたとされる「金印」が、実際に見つかった場所として正しいものはどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 大阪府の大仙陵古墳
 2. 奈良県の纏向遺跡
 3. 福岡県の志賀島
 4. 佐賀県の吉野ヶ里遺跡
- 問7 弥生時代に使用された青銅器である「銅鐸」の変化や、当時の社会における役割について説明した文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2020年 山口県公立入試 類似）
1. 当初は内部に「舌（ぜつ）」を吊るして音を鳴らす楽器として使われたが、次第に大型化し、豊作を祈る儀式で飾るための道具へと変化した。
 2. 死者の霊を守るためや王の権力を誇示するために、古墳の表面に並べられた土製の焼き物として、全国各地の有力な豪族の間で広まった。
 3. 大陸の王朝から日本の王に授けられたもので、金印とともに当時の日本が中国の皇帝に認められていたことを示す外交上の重要な証拠となった。
 4. もともとは実戦で使うための鋭い刃を持つ武器であったが、次第に大型で薄い形状になり、首長の権威を示すための宝物として扱われるようになった。
- 問8 1世紀ごろ、日本列島にあった奴国の王が、大陸の王朝である後漢の皇帝から「金印」を授けられた目的やその背景として、最も適切な説明はどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 中国と対等な軍事同盟を結ぶことで、朝鮮半島南部にある鉄資源を独占しようとしたため。
 2. 中国で流行していた仏教を日本に導入し、鎮護国家の思想を広めるための許可を得るため。
 3. 中国からの渡来人を役人として受け入れ、日本全土を統一するための戸籍制度を整えるため。
 4. 中国の皇帝から統治者としての承認を受けることで、国内における自らの権威を高めるため。
- 問9 邪馬台国の女王である卑弥呼が、中国の魏（ぎ）へ使いを送り、皇帝から「親魏倭王」の称号や金印、多数の銅鏡を授かった政治的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 秋田県公立入試 類似）
1. 魏と共同で朝鮮半島の高句麗を攻撃し、領土を拡大するための軍事同盟を結ぶため
 2. 魏の強力な軍勢力を日本に直接呼び寄せ、九州地方の反乱勢力を武力で鎮圧するため
 3. 魏の後ろ盾を得ることで自らの権威を高め、国内の統治や他国との関係を有利に進めるため
 4. 魏の優れた律令制度をそのまま日本に導入し、中央集権国家をいち早く確立するため
- 問10 弥生時代の社会の変化について述べた文として、当時の集落のあり方や道具の特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2024年 沖縄県公立入試 類似）
1. 縄目の文様がある厚手で黒褐色の土器を使用し、主に狩りや採集を行って生活した。
 2. 仏教の伝来とともに巨大な前方後円墳が造られ、集落の形が大きく変化した。
 3. 堅穴住居が並ぶ大規模な集落が形成されたが、外敵を防ぐための堀などは作られなかった。
 4. 集落の周りに堀や柵を巡らせ、薄くて硬い土器や鉄器・青銅器などの金属器を使用した。
- 問11 弥生時代における「青銅器」と「鉄器」の使われ方の違いについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 大阪府公立入試 類似）
1. 鉄器は縄文時代から日本列島で独自に作られていたが、青銅器は弥生時代になって初めて大陸から伝わった。
 2. 青銅器は武器や農具などの実用的な道具として用いられ、鉄器は祭りや儀式のための宝物として用いられた。
 3. 鉄器も青銅器も、ともに稲作を効率化するための農具としてのみ、実用的に普及した。
 4. 鉄器は武器や農具などの実用的な道具として用いられ、青銅器は祭りや儀式のための宝物として用いられた。
- 問12 弥生時代に中国や朝鮮半島から伝わった鉄の利用について、当時の社会に与えた影響を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 奈良県公立入試 類似）
1. 土偶の表面を細かく削り出すための彫刻用具として、全国で広く普及した。
 2. ナウマンゾウなどの大型の獣を捕らえるための、強力な打製石器の材料となった。
 3. 須恵器と呼ばれる硬い土器を焼くために、窯の温度を上げる燃料として利用された。
 4. 木製農具の刃先に装着することで土地を耕す効率が向上し、農業生産力が高まった。
- 問13 卑弥呼が中国の魏に使いを送り、「親魏倭王」の称号や金印、銅鏡などを授かった背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2017年 長崎県公立入試 類似）
1. 魏の軍勢力を借りて朝鮮半島の国々を征服し、鉄資源を独占して経済的な優位性を確立しようとしたため。
 2. 中国の皇帝から統治者としての権威を認められることで、国内の諸勢力との争いを有利に進め、統治を安定させようとしたため。
 3. 中国から仏教を公式に導入し、宗教の力を用いて人々の思想を統一し、中央集権的な国家を築こうとしたため。
 4. 中国の律令制度を日本に持ち帰り、戸籍の作成や租・庸・調の税制を整えるための助言を求めたため。